

## ■平成 23 年度（社）日本地すべり学会第 50 回研究発表会及び現地見学会

**\*学会誌会告から、大幅な追加がありますのでご覧下さい**

今大会では 3 つの見学コースをご用意いたしました。なお、Cコースは今回新たに設定した、「富士の国静岡」の観光もあわせてお楽しみ頂けるコースです。

- ・ Aコース：由比コース（定員 120 名）  
〔静岡県庁 8：30 出発～由比地すべり～地震防災センター～静岡駅 16:20 解散〕
- ・ Bコース：島田コース（定員 120 名）  
〔静岡県庁 8：30 出発～地震防災センター～富士山静岡空港～神尾地すべり～新第二東名（地すべり現場）～静岡駅 16:20 解散〕
- ・ Cコース：伊豆土肥コース（定員 40 名）  
〔静岡県庁 8：00 出発～由比地すべり（東名より視察）～上船原浜井場現場～土肥地すべり地～国道 136 号道路拡幅現場～土肥港～清水港～静岡駅 16:20 解散予定〕

### ◆現地見学会参加費

	A・Bコース	Cコース
一般会員（事前支払）	6,000 円	9,000 円
一般会員（当日支払）	7,000 円	9,000 円
学生会員	6,000 円	9,000 円
非会員	7,000 円	9,000 円

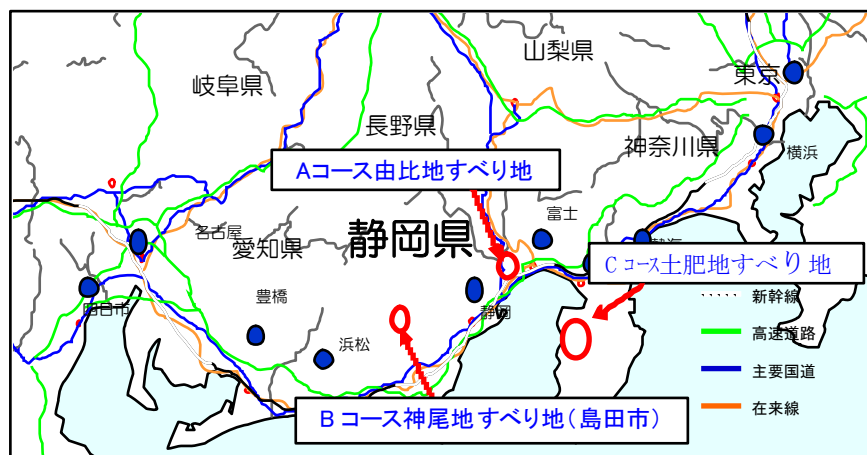
- (1)参加費は原則全額前納とし、返却しません。
- (2)参加費を事前にお支払いされていない場合、当日支払い扱いとなりますのでご注意ください。

### ◆申し込み方法

申込書の現地見学会の欄に A～C のコースをご記入ください。  
締め切りは 7 月 15 日です。

**\*現地見学会の参加につきましては事前申し込みのみとさせていただきます。**

すでにお申し込みを済ませられた方の中で、A、BコースからCコースへ変更をご希望の方がございましたら、事務局までご連絡ください（Cコースへの変更のみ受け付けます）。



**★以下に、各コースの見所をご紹介します！**

## Aコース:「由比コース」

静岡県庁 8:30 出発～由比地すべり（興津・サッタ峠～サッタ峠展望台：マイクロバスに乗り換え）～ゆい桜えび館（昼食）～エスパルスドリームプラザ～地震防災センター～静岡駅 16:20 解散

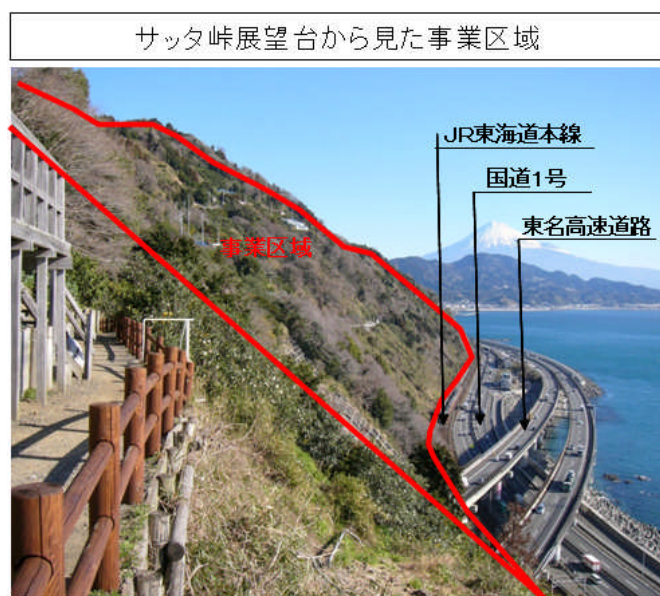
《A、Bグループにわかれます。見学順はグループで変わります》

### ★本コースの見所「由比地すべり地」

「由比地すべり地」は、静岡市清水区由比町西倉沢に位置しております。この地は、歌川広重が『東海道五十三次由比（薩埵嶺）』で、急峻な地形と駿河湾に挟まれた峠の様子を描いたことでも知られる、昔からの交通の難所の一つでした。また、昔から地すべり等の土砂災害が多く記録されている地域でもあります。

現在この地域には、日本の大動脈である国道一号線(67,000 台/日)・東名高速道路 (65,000 台/日)・JR東海道本線 (180 本/日ただし貨物を除く) といった東西を結ぶ重要な交通網が集中しており、この地域で地すべりが発生した場合、東西の重要交通網が寸断されることによって生ずる経済被害・人的被害は計りしれないものがあります。

国土交通省・中部地方整備局富士砂防事務所では、当該地域で大規模地すべりの地形が確認されたことおよび、中央防災会議の東海地震想定震度（震度 6～震度 7）を受け、この地区での豪雨や東海地震等による大規模地すべり災害発生を未然に防ぐため、平成 17 年度より工事用道路・抑制工を中心とした地すべり対策工事に着手しております。



## Bコース:「島田コース」

静岡県庁 8:30 出発～わさび工場見学～地震防災センター～お茶の里（昼食）

～富士山静岡空港（車窓より地すべり地見学）～神尾地すべり

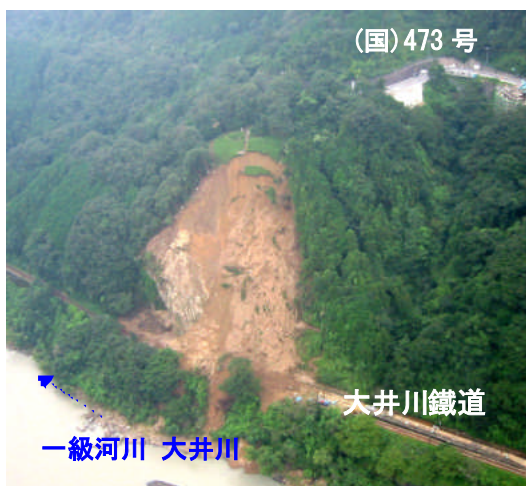
～新第二東名（地すべり現場）～静岡駅 16:20 解散

### ★本コースの見所その1「神尾地すべり地」

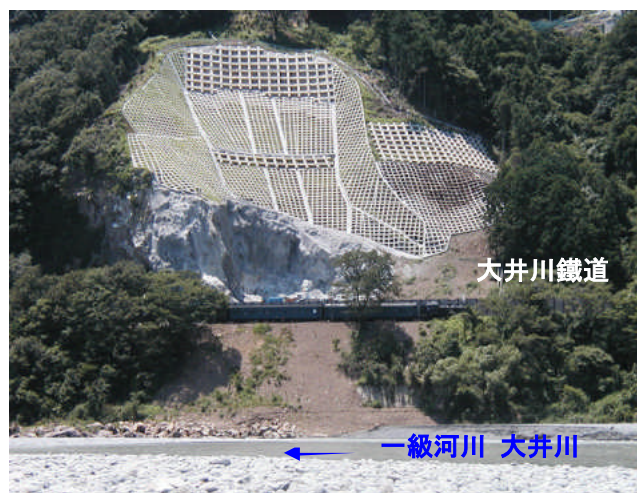
「神尾地すべり地」は、静岡県中部を流れる一級河川大井川の中流域の島田市金谷町に位置しております。この地では、平成 15 年 8 月 14 日から降り続いた豪雨（連続雨量 417mm）によって、8 月 17 日に幅約 90m、長さ約 105m の範囲で地すべり活動が活発化し、大規模な斜面崩落が発生しました。約 10,000 m<sup>3</sup> の崩落土砂が、直下の大井川鐵道の線路敷を覆い、一部土砂は大井川まで流出し、さらに、8 月 27 日には、崩落した斜面の上部及び側部の不安定土砂が二次崩落するなど、斜面上部を通る国道 473 号への被害も危惧されたことから、静岡県では、災害関連緊急地すべり対策事業により対策工事を実施しました。

10 月中旬に対策工事を着手し、昼夜連続の作業等による工期短縮から、崩落の 7 ヶ月後の翌年 3 月に

は運休していた大井川鐵道の運転が再開され、その後も順調に作業が進んだことにより約1年で対策工事が完了しました。(静岡県交通基盤部)



平成15年8月(災害発生時)



平成16年8月(復旧後)

### ★本コースの見所その2「新東名建設工事 地すべり対策工事現場」

建設中の新東名高速道路建設現場において実施されている大規模な地すべり対策工事の現場を見学します。「入野西工事」は延長約1,600m、土工量約110万 $\text{m}^3$ の切土を主体とした土木工事です。現在、切土部ののり面対策工としてアンカー工、抑止杭、集水井などの工事を行っています。「藤枝工事」は延長約2,200m、土工量約210万 $\text{m}^3$ の切土を主体とした土木工事です。現在、切土部ののり面対策工としてアンカー工、抑止杭、集水井などの工事を行っています。

**\*工事の進捗等により見学地・コースが変更になる場合がありますのであらかじめご了承ください**



「入野西工事」



「藤枝工事」

### Cコース:「伊豆コース」

**新たに新コースとして、伊豆方面現地見学会コースを新設致しました。**

静岡県庁 8:00～東名高速由比パーキングより由比地すべり地見学～(伊豆中央道・修善寺道路)  
～伊豆ワイナリーヒルズ～上船原浜井場地区～国道136号土肥地すべり地  
～国道136号線拡幅現場～(土肥港より駿河湾フェリー)～清水港～静岡駅 16:20 解散

\*晴天時には、フェリー船上から、雄大な富士山を海岸線から頂上まで一望出来ます。富士の国静岡の観光もあわせてお楽しみ頂けるコースです。

### ★本コースの見所その1「土肥地すべり地」

「土肥地すべり地」は、国道136号の沼津方面から『小嵐トンネル』を抜け約300m進んだ伊豆市土肥地内に位置しています。国道136号は下田市を起点として、伊豆半島西海岸沿いから伊豆半島中央部を経由して三島市に至る伊豆の観光地を支える重要な幹線道路です。この地では、平成19年7月23日に国道付近を地すべり頭部とする道路災害が発生し、主要ルートである国道136号線の全面通行止めを余儀なくされました。地すべり規模は、幅約40m、長さは最終的には約160mまで達し、移動土砂量は約28,000m<sup>3</sup>と推定されました。

静岡県では、道路災害復旧事業により、対策工を実施しました。災害発生から19日後に仮設橋設置による片側交互通行の運びなり、災害復旧工事は、社会的影響を最小限に抑えるため、昼夜を問わず鋭意実施され、平成20年12月20日に完成しました。(静岡県交通基盤部)



平成19年7月(災害発生時)



平成20年12月(復旧後)

### ★本コースの見所その2「上船原浜井場地区」

本地区では、平成16年10月の台風22号により、人家裏の斜面が崩壊し、1名が死亡、住宅2戸が全壊する甚大な災害が発生しました。今後も集中豪雨等により斜面崩壊の危険が高いことから、平成19年度より事業着手して、防止施設の整備を進めてきました。



平成16年災害発生時



完成

### ★本コースの見所その3「国土136号線拡幅現場」

一般国道136号は、静岡県下田市を起点とし同県三島市に至る延長約123kmの第一次緊急輸送路に指定された幹線道路で、伊豆半島の産業と生活を支える重要な路線となっています。土肥拡幅は、伊豆市八木沢～同市土肥間の狭隘区間を解消し、災害時の救援活動等を支える輸送ルートを確認するとともに、安全で円滑な交通確保を目的とし、当該区間の整備により伊豆半島の民生安定と産業の振興に寄与するため、整備が進められています。



法面に施工されたアンカー工